

あなたが望む葬儀は？

葬儀の形態が多様に変化

これまでの葬儀といえば世間体を気にしたり、見栄を張るなど立派に故人を送り出すことが遺族の務めとされてきました。しかし、社会変化や個人の考え方も変わり、葬儀事情も変化してきています。

近年では、自分が死んだ場合に家族が慌てない様に、葬儀をはじめ、お墓や遺品整理、財産分与(相続)などについての細かな事柄を伝えておきたい。そのことから葬儀も生前から決めておく人が増えてきています。

増加する家族葬

葬儀においても、家族や近しい親戚のみでおこなう「家族葬」が増えています。自分の意思として家族に迷惑をかけたくない、経済的にも負担をかけさせたくないとの理由から「質素にあげてほしい」といった心の変化によるものです。

また、家族葬の増加は低価格志向と重なる面もあります。景気低迷やデフレ経済に加え、高齢化や人付き合いの希薄化を背景に、葬儀になるべくお金をかけたくないと考える人が増えています。

さらに、核家族化により故人の友人、知人との接点がなく訃報を知らすべき手立てが無いといったことや、高齢化により故人の兄弟姉妹も他界しており、親戚縁者も遠方なので出席してもらうのも気の毒との理由から葬儀の形態も小規模な葬儀に変化してきています。

今では大規模な葬儀は減少し、都市部では小規模な葬儀が7割超を占めています。

直葬の需要も年々増加傾向

「直葬」も増加傾向にあります。直葬とは、葬式をせず火葬だけするもので、通夜・葬儀はおこなわず、また親族にも知らせず、遺族だけで故人を見送ります。荼毘に付してから親族に知らせるのが一般的です。

専門家の推定では、都市部では20～30%、地方では5～10%が直葬だと見られています。直葬そのものは生活困窮者や天涯孤独者については昔から行われてきましたが、それが一般に広まり始めているのが最近の特徴です。

平均寿命が長くなり、社会的儀礼としての葬儀の必要性が薄れてきたことや、宗教離れ、葬儀に対して金銭や時間の無駄と考える人が増えているということも増加の要因です。

しかし、自身が望む葬儀も残された家族(遺族)のことも考えて判断されることをお勧めします。

■一般的な葬儀の費用について

●全国平均 → 200万円

●家族葬 → 50万円～100万円

●近畿平均 → 194万円

●直葬 → 10万円～30万円

あなたの考えと求める葬儀は？

葬儀をしたい	はい	いいえ(直葬を希望)
葬儀の予約をしている	はい	いいえ
葬儀のイメージは	<input type="checkbox"/> 一般的な葬儀(家族、親戚一同、友人、知人)	
	<input type="checkbox"/> 家族、親戚一同	
	<input type="checkbox"/> 家族、子ども(孫まで)	
	<input type="checkbox"/> 子どものみ	
葬儀方法	<input type="checkbox"/> 仏式(宗派) <input type="checkbox"/> 神式 <input type="checkbox"/> キリスト教式 <input type="checkbox"/> 無宗教	
遺影の準備は	ある	ない
葬儀社が決まっている場合の 連絡先	名称	
	住所	
	電話	
葬儀についての希望はありますか(好きな音楽、好きな服、好きな花など)		

訃報を伝える方々

連絡リストを作っている	はい	いいえ
-------------	----	-----

あなたが考える 葬儀の費用は	円
-------------------	---